

中期経営目標(実施期間 H30～R4)

- ①研修生を5年間で10%増加させます。
- ②研修生アンケートによる満足度は、5年間で90%以上に高めます。

1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値	実績値(R4)	中間目標値(R2)	最終目標値(R4)
①研修生数	54人	31人	56人	59人
②研修生アンケートによる満足度	82%	97%	90%	90%以上
③				
④				
⑤				

2 令和4年度における主な取組内容

(1)施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取組

①施設の利用促進に向けた取組

- ・研修生の作品展については、当研修所、のと里山空港、しいのき迎賓館を会場に開催し、計812名の入場者がありました。
- ・令和元年度から石川県広報聴室公式SNS(ツイッター)を活用し、作品展の情報等を延べ15回広報した。これらにより漆芸の魅力に関心を持ってもらい、当研修所における重要無形文化財の技術伝承者養成事業の理解を深めてもらう取り組みをしました。
- ・県内及び県外の工芸学科がある大学、専門学校、高校等に研修生募集要領やポスターを送付して、研修生確保に取り組みました。

②サービス(満足度)向上に向けた取組

- ・研修生アンケートによる要望について、科別指導会議で検討し講師と情報共有しながら、研修環境の改善に取り組みました。
- ・10月に第69回日本伝統工芸展金沢展の見学研修を行いました。重要無形文化財「沈金」保持者 前 史雄氏及び重要無形文化財「木工芸」保持者 川北 良造氏による記念講演会に参加し、新しく石川で始まる日本の工芸の拠点について知る取り組みをしました。
- ・10月に重要無形文化財「紋紗」保持者 土屋 順紀氏による特別講義を開催し、研修生の教養の向上に取り組みました。

(2)施設運営の効率化に向けた取組

事務消耗品や光熱水費等について経費削減に努め、また運営委員会委員からの意見や主任講師(人間国宝)からの助言を踏まえて研修の質の向上を図り、効果的な施設運営に取り組んでいます。

(3)その他の取組 (1)、(2)以外の取組があれば記載

3 令和4年度における取組内容の見直し等

研修所の魅力を深めるためホームページを活用し、卒業生の活躍状況や展覧会情報を掲載していきます。